

## 2. 麦類・大豆

### (1) 麦類(殺菌・殺虫剤)

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	魚毒性	
アミスター2070アブル	アゾキストロピ ン水和剤	株腐病	原液	は種前	1回	塗沫処理	小麦	普	I	
		紅色雪腐病				種子吹き付け処理				
キゲンR-270アブル	チラム水和剤	なまぐさ黒穂病	乾燥種子1kg 当り原液20mL	は種前	1回	塗沫処理	小麦	普	II	
		紅色雪腐病								
		斑葉病								大麦
		網斑病								
シードラック水和剤	金属銀水和 剤	なまぐさ黒穂病 (小麦)	20倍	は種前	1回	10分間種子 浸漬 塗沫処理	麦類	普	-	
			6倍							
			乾燥種子重量 の0.5~1.0%							
		黒節病	20倍			10分間種子 浸漬 塗沫処理				
			6倍							
			乾燥種子重量 の0.5~1.0%							
		斑葉病(大麦)	20倍			10分間種子 浸漬 塗沫処理				
			6倍							
			乾燥種子重量 の0.5~1.0%							
		網斑病(大麦)	乾燥種子重量 の1.0%			種子粉衣 (湿粉衣)				
		トリフィン水和剤	トリフィン <sup>®</sup> ール 水和剤			なまぐさ黒穂病				種子重量の 0.5%
斑葉病										
網斑病										
裸黒穂病										
ペンレートコート	チラム・ベ <sup>®</sup> ノミ ル粉剤	なまぐさ黒穂病	乾燥種子重量 の0.5%	は種前	1回	種子粉衣	小麦	普	II	
		株腐病					大麦			
		条斑病					小麦			
		斑葉病					大麦			
		裸黒穂病					小麦			
							大麦			
							大麦			

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	魚毒性		
ペンレート水和剤20	チラム・ペノシル水和剤	なまぐさ黒穂病	200倍	は種前	1回	6~24時間 種子浸漬	小麦	普	II		
							麦類(小麦を除く)				
			20倍			10~20分間 種子浸漬	小麦				
							麦類(小麦を除く)				
			7.5倍			種子吹き付け処理(種子消毒機使用)	小麦				
							麦類(小麦を除く)				
			乾燥種子重量の0.5%			種子粉衣	小麦				
							麦類(小麦を除く)				
			条斑病			200倍	6~24時間 種子浸漬			小麦	
											麦類(小麦を除く)
							20倍			10~20分間 種子浸漬	小麦
											麦類(小麦を除く)
		7.5倍		種子吹き付け処理(種子消毒機使用)	小麦						
					麦類(小麦を除く)						
		乾燥種子重量の0.5%		種子粉衣	小麦						
					麦類(小麦を除く)						
		斑葉病		200倍	6~24時間 種子浸漬		小麦				
								麦類(小麦を除く)			
					20倍		10~20分間 種子浸漬	小麦			
								麦類(小麦を除く)			
			7.5倍		種子吹き付け処理(種子消毒機使用)	小麦					
						麦類(小麦を除く)					
			乾燥種子重量の0.5%		種子粉衣	小麦					
						麦類(小麦を除く)					
裸黒穂病	200倍		6~24時間 種子浸漬		小麦						
						麦類(小麦を除く)					
			20倍		10~20分間 種子浸漬	小麦					
						麦類(小麦を除く)					
		7.5倍	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)	小麦							
				麦類(小麦を除く)							
		乾燥種子重量の0.5%	種子粉衣	小麦							
				麦類(小麦を除く)							

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	魚毒性
アミスター2070アブル	アゾキストロピ ン水和剤	うどんこ病	2000~3000倍	収穫7日前 まで	3回以内	散布	小麦	普	I
		黄斑病	2000倍						
		赤さび病	2000~3000倍						
オシント-水和剤 80	有機銅水和 剤	紅色雪腐病	400倍	根雪前	2回以内	散布	麦類(小麦 を除く)	普	II
				5回以内	小麦				
		雪腐小粒菌核病	2回以内	麦類(小麦 を除く)					
			5回以内	小麦					
カリグリーン	炭酸水素カ ルム水溶剤	うどんこ病	500倍	収穫前日ま で	-	散布	麦類	普	I
		雪腐病	400~800倍	根雪前	2回以内	散布	麦類(小麦 を除く)	普	II
			5回以内	小麦					
シルバキュア70アブル	テブコナゾール 水和剤	うどんこ病	2000倍	収穫14日前 まで	2回以内	散布	大麦	普	I
				収穫7日前 まで			小麦		
		なまぐさ黒穂病	1000倍	根雪前	1回				
		赤かび病	2000倍	収穫14日前 まで	2回以内		大麦		
				収穫7日前 まで			小麦		
		赤さび病							
		雪腐小粒菌核病	1000~2000倍	根雪前	1回				
網斑病	2000倍	収穫14日前 まで	2回以内	大麦					
フルト乳剤25	プロトコナゾール 乳剤	うどんこ病	2000~3000倍	収穫21日前 まで	1回	散布	大麦	普	I
				収穫3日前 まで	3回以内		小麦		
		黄斑病	1000倍						
		紅色雪腐病	750~1000倍	根雪前	2回以内				
		赤かび病	1000~2000倍	収穫21日前 まで	1回		大麦		
				収穫3日前 まで	3回以内		小麦		
		赤さび病	1000~3000倍						
			250~500倍						
		雪腐小粒菌核病	150倍	根雪前	2回以内				
750~1000倍									
網斑病	1000倍	収穫21日前 まで	1回	大麦					

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	魚毒性
トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	うどんこ病	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	小麦	普	I
				収穫30日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)		麦類(小麦を除く)		
		赤かび病	1000～1500倍	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)		小麦		
				収穫30日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)		麦類(小麦を除く)		
		雪腐病	1000～2500倍	根雪前	3回以内 (出穂期以降は2回以内)		小麦		
トップジンM粉剤DL	チオファネートメチル粉剤	赤かび病	3～4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	小麦	普	I
			4kg/10a		3回以内 (出穂期以降は1回以内)		麦類(小麦を除く)		
トリフミン水和剤	トリフルミゾール水和剤	うどんこ病	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	麦類	普	I
		赤かび病							
トリフミン乳剤	トリフルミゾール乳剤	うどんこ病	1000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	小麦	普	I
		赤かび病							
パシタック水和剤75	メプロニル水和剤	さび病	1000～1500倍	収穫30日前まで	2回以内	散布	麦類	普	I
		雪腐小粒菌核病	750～1500倍	根雪前					
ミラビスフロアール	ピジフルメフェン水和剤	赤かび病	1500～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	大麦	普	II
		赤さび病		収穫7日前まで			小麦		
ワークアップフロアール	メトコナゾール水和剤	うどんこ病	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	麦類	普	I
		黄斑病							
		赤かび病	2000～3000倍						
		赤さび病	2000倍						
		雪腐小粒菌核病							
		網斑病							

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	魚毒性
ワークアップ 粉剤DL	メコナゾール粉剤	うどんこ病	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	麦類	普	I
		赤かび病							
		赤さび病							
		網斑病							
有機銅水和剤80	有機銅水和剤	雪腐病	400~800倍	根雪前	2回以内	散布	麦類	普	II
スミチオン乳剤	MEP乳剤	アブラムシ類	1000倍	収穫7日前まで	1回	散布	小麦	普	I
							大麦		
		アヲヨトウ					小麦		
							大麦		
スミチオン粉剤2DL	MEP粉剤	アブラムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	1回	散布	麦類	普	I
スミトップ M粉剤	MEP・チオファネートメチル粉剤	アブラムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	1回	散布	小麦	普	I
							麦類(小麦を除く)		
		うどんこ病					小麦		
							麦類(小麦を除く)		
		ヒメトビウカ					小麦		
							麦類(小麦を除く)		
		ムキアカタマハエ					小麦		
							麦類(小麦を除く)		
赤かび病	小麦								
	麦類(小麦を除く)								

## (2) 大豆(殺菌・殺虫剤)

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
キゲン	チラム水和剤	タネハエ	乾燥種子重量の1%	は種前	1回	種子粉衣		普	II
		ハト							
		紫斑病							
キゲンR-2フロアブル	チラム水和剤	タネハエ	乾燥種子1kg当り原液20mL	は種前	1回	塗沫処理		普	II
		紫斑病							
		苗立枯病							
クルザ-FS30	チアトキサム水和剤	アフラムシ類	乾燥種子1kg当り原液6mL	は種前	1回	塗沫処理		普	I
		タネハエ							
		ネキリムシ類							
		フタスジヒメハムシ							
クルザ-MAXX	チアトキサム・フルジ・オキソニル・メタキシルM水和剤	アフラムシ類	原液	は種前	1回	塗沫処理	乾燥種子1kg当り8mL	普	I
		タネハエ							
		ネキリムシ類							
		フタスジヒメハムシ							
		リゾクトニア根腐病							
		茎疫病							
		黒根腐病							
		紫斑病							
		白絹病							
		苗立枯病(ヒシム菌)							
ペンレート水和剤20	チラム・ベノミル水和剤	紫斑病	乾燥種子重量の0.2~0.4%	は種前	1回	種子粉衣		普	II
ランマンフロアブル	シアゾファミド水和剤	茎疫病	原液	は種前	1回	種子塗沫	種子重量の2%	普	I
ゾールト-	銅水和剤	紫斑病	500倍	-	-	散布		普	I
		斑点細菌病							
		葉焼病							
ゾールト-粉剤DL	銅粉剤	茎疫病	3kg/10a	-	-	散布		普	I
		紫斑病							

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
アミスター2070アブル	アゾキシトロピン水和剤	べと病	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		紫斑病	2000~3000倍						
		腐敗粒	2000倍						
ゲッター水和剤	ジエトフェカルブ・チオファネートメチル水和剤	紫斑病	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布		普	I
トイホルト-DF	銅水和剤	斑点細菌病	500倍	-	-	散布		普	I
トップシム水和剤	チオファネートメチル水和剤	菌核病	700~1000倍	収穫14日前まで	4回以内	散布		普	I
		紫斑病	700~1500倍						
トップシム粉剤DL	チオファネートメチル粉剤	紫斑病	4kg/10a	収穫14日前まで	4回以内	散布		普	I
トライフロアブル	テフフロキン水和剤	紫斑病	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
ハリタシン液剤5	ハリタマイシン液剤	葉焼病	500倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
ファンタジスタフロアブル	ピリベンカルブ水和剤	菌核病	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		紫斑病							
フェスティバルC水和剤	ジメモルフ・銅水和剤	べと病	600倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		茎疫病							
		斑点細菌病							
		葉焼病							
フセキフロアブル	ピリダクロメチル水和剤	紫斑病	3000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		普	I
ベンコセブ水和剤	マンゼブ水和剤	べと病	400倍	収穫45日前まで	3回以内	散布		普	I
		紫斑病							
ベンレート水和剤	ベノミル水和剤	菌核病	1000~2000倍	収穫前日まで	4回以内	散布		普	I
		紫斑病							
プランタム乳剤25	ジフェノコナゾール乳剤	紫斑病	3000~5000倍	開花後~収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
ランマンフロアブル	シアゾファミド水和剤	べと病	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		茎疫病							
リゾレックス水和剤	トルクロホスチル水和剤	白絹病	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	土壌灌注		普	I
リドミルコートMZ	マンゼブ・メタラキシルM水和剤	べと病	500倍	収穫45日前まで	3回以内	散布		普	I
		茎疫病							

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
アタゴ <sup>®</sup> ロン乳剤	ケルフルアズ <sup>®</sup> ロン乳剤	オオタバコガ <sup>®</sup>	4000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		ハスモンヨトウ	2000~4000倍						
アルバ <sup>®</sup> リン粉剤DL	ジノテフラン粉剤	カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		ダ <sup>®</sup> イス <sup>®</sup> サヤタバハ <sup>®</sup> エ							
		フタスジ <sup>®</sup> ヒメハムシ							
エルサン乳剤	PAP乳剤	ア <sup>®</sup> ラムシ類	1000~2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		劇	I
		カメムシ類	1000倍						
		シロイモシ <sup>®</sup> マタ <sup>®</sup> ラムイ <sup>®</sup> ガ <sup>®</sup>	1500~2000倍						
		ツメクサガ <sup>®</sup>	1000倍						
		ハスモンヨトウ							
		マメシクイガ <sup>®</sup>							
エルサン粉剤3DL	PAP粉剤	カメムシ類	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		シロイモシ <sup>®</sup> マタ <sup>®</sup> ラムイ <sup>®</sup> ガ <sup>®</sup>							
		ハスモンヨトウ	4kg/10a						
キラップ <sup>®</sup> フロアブル	エチブ <sup>®</sup> ロール水和剤	カメムシ類	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
キラップ <sup>®</sup> 粉剤DL	エチブ <sup>®</sup> ロール粉剤	カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
グレース <sup>®</sup> 乳剤	フルキサメタミド <sup>®</sup> 乳剤	ウコンノメイガ <sup>®</sup>	2000~3000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		オオタバコガ <sup>®</sup>							
		ハスモンヨトウ							
		ハタ <sup>®</sup> ニ類							
		フタスジ <sup>®</sup> ヒメハムシ							
		マメシクイガ <sup>®</sup>							
スターケルメイト液剤10	ジノテフラン液剤	カメムシ類	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		ダ <sup>®</sup> イス <sup>®</sup> サヤタバハ <sup>®</sup> エ							
		フタスジ <sup>®</sup> ヒメハムシ							



## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
スタークル液剤10	ジノテフラン液剤	カメムシ類	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		タ <sup>°</sup> イヌ <sup>°</sup> サヤタバハ <sup>°</sup> エ							
		フタスジ <sup>°</sup> ヒメハムシ							
スタークル粉剤DL	ジノテフラン粉剤	カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		タ <sup>°</sup> イヌ <sup>°</sup> サヤタバハ <sup>°</sup> エ							
		フタスジ <sup>°</sup> ヒメハムシ							
スミチオン乳剤	MEP乳剤	ア <sup>°</sup> ラムシ類	1000~2000倍	収穫21日前まで	4回以内	散布		普	I
		ウコンノメイカ <sup>°</sup>	1000倍						
		カメムシ類							
		シロイチモシ <sup>°</sup> マタ <sup>°</sup> ラムイカ <sup>°</sup>							
		タ <sup>°</sup> イヌ <sup>°</sup> サヤタバハ <sup>°</sup> エ							
		マメシクイカ <sup>°</sup>	1000~1500倍						
		マメハンミヨウ	1000倍						
マメヒメサヤムシカ <sup>°</sup>									
スミチオン粉剤3DL	MEP粉剤	カメムシ類	4kg/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布		普	I
ゼンターリ顆粒水和剤	BT水和剤	ハスモンヨトウ	1000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布		-	-
トレボン乳剤	エトフェン <sup>°</sup> ロックス乳剤	ア <sup>°</sup> ラムシ類	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		ウコンノメイカ <sup>°</sup>							
		カメムシ類							
		シロイチモシ <sup>°</sup> マタ <sup>°</sup> ラムイカ <sup>°</sup>							
		タ <sup>°</sup> イヌ <sup>°</sup> サヤタバハ <sup>°</sup> エ							
		ツメクサカ <sup>°</sup>							
		ハスモンヨトウ							
		フタスジ <sup>°</sup> ヒメハムシ							
		マメシクイカ <sup>°</sup>							

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
トホ <sup>®</sup> ン粉剤DL	エトフェン <sup>®</sup> ロックス粉剤	ア <sup>®</sup> ラムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		カメムシ類							
		シロイモシ <sup>®</sup> マダ <sup>®</sup> ラメイカ <sup>®</sup>							
		ダ <sup>®</sup> イス <sup>®</sup> サヤタマバ <sup>®</sup> エ							
		ハスモンヨトウ							
		フタスジ <sup>®</sup> ヒメハムシ							
		マメシクイカ <sup>®</sup>							
ニッラン水和剤	ヘキシチアゾ <sup>®</sup> クス水和剤	ハタ <sup>®</sup> ニ類	2000~3000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
ネリエースK	イキサチオン粒剤	ネキリムシ類	3kg/10a	は種時~本葉2葉期	2回以内	土壌表面株元処理		普	I
ノモルト乳剤	テフルバ <sup>®</sup> ンス <sup>®</sup> ロン乳剤	ハスモンヨトウ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
フェニックスフロアブル	フルバ <sup>®</sup> ンジ <sup>®</sup> アミド水和剤	ウコンノメイカ <sup>®</sup>	4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		オオタバコカ <sup>®</sup>							
		ツメクサガ <sup>®</sup>							
		ネキリムシ類							
		ハスモンヨトウ	2000~4000倍						
ブレオフロアブル	ヒ <sup>®</sup> リタ <sup>®</sup> リル水和剤	オオタバコカ <sup>®</sup>	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		シロイモシ <sup>®</sup> ヨトウ	1000~2000倍						
		ハスモンヨトウ							
		マメシクイカ <sup>®</sup>							
ブレバ <sup>®</sup> ソンフロアブル5	クロラントラニリブ <sup>®</sup> ロール水和剤	ウコンノメイカ <sup>®</sup>	4000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		オオタバコカ <sup>®</sup>							
		ハスモンヨトウ							
		マメシクイカ <sup>®</sup>							
プロフレアSC	プロフラニリド <sup>®</sup> 水和剤	オオタバコカ <sup>®</sup>	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		普	I
		ダ <sup>®</sup> イス <sup>®</sup> サヤタマバ <sup>®</sup> エ							
		ハスモンヨトウ							
		フタスジ <sup>®</sup> ヒメハムシ							
ヘ <sup>®</sup> ガ <sup>®</sup> サスフロアブル	フルバ <sup>®</sup> ンジ <sup>®</sup> アミド水和剤	ハスモンヨトウ	2000~4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
ベネアD	シアントラニプロール水和剤	アラムシ類	2000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		ハスモンヨトウ							
		マメシクイガ							
マトリックフロアブル	カマフェニトール水和剤	ハスモンヨトウ	2000～3000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		普	I
マロン乳剤	マロン乳剤	アラムシ類	1000～3000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		コナメシ類							
		ハダニ類							
		マメシクイガ	1000倍						
ミネクトエクストラSC	シアントラニプロール・ルフェエロン水和剤	カメムシ類	10000～12000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		ハスモンヨトウ							
		マメシクイガ							
ロムタンフロアブル	テブフェニトール水和剤	ハスモンヨトウ	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布		普	I
アミスターレボーンSE	イトフェンプロックス・アゾキストロビン水和剤	アラムシ類	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		カメムシ類							
		ハスモンヨトウ							
		マメシクイガ							
		紫斑病							
トライレボーン粉剤DL	イトフェンプロックス・テブフロキン粉剤	カメムシ類	3～4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		ダイズサヤマハエ							
		ハスモンヨトウ							
		フタスジヒメハムシ							
		マメシクイガ							
		紫斑病							
コナコンプラス	アルミゲルア・ダイアモルア剤	オオタバコガ	100～120本/10a(22g/100本製剤)	対象作物の栽培全期間		作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスプレイを巻き付け固定し圃場に配置する。		普	I
		ヨトウガ							

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
コンフェザ-V	アルミゲルア・ウワ バルア・タ イアモル ア・ビートア-ミル ア・リトルア剤	オオタバコガ	100~200本 /10a(41g/100本 製剤)	対象作物 の栽培全 期間		作物の生育 に支障のない 高さに支持棒 等を立て支持 棒にデイスパ ンサーを巻き 付け固定し圃 場に配置する。		普	I
		ハスモンヨトウ							
		ヨトウガ							
フェロテ-インSL	リトルア剤	ハスモンヨトウ雄成虫	2~4個/ha	成虫発生 初期から 発生終期 まで		本剤をトラッ プ1台当り1 個を取付け て配置する。 取付けた薬 剤は1.5~2 ヶ月間隔で 更新する。		普	I
ヨトウコン-H	リトルア剤	ハスモンヨトウ	20~ 200m/10a(20cm チューブの場合100 ~1,000本)	成虫発生 初期から 終期まで		露地(作物 上に支柱等 を用いて固 定する。)		普	I

(3) 除草剤

①麦類

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	適用土 壤	備考	普 性	魚 毒 性
MCPソーダ <sup>®</sup> 塩	MCPAナトリウム塩 液剤	麦類	一年生及 び多年生 広葉雑草	200～ 300g/10a	(秋播麦類)幼穂 形成期 但し収穫 45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面 散布			普	I
カイトック細粒剤 F	ヘンテメタリン・リ ニロン粉粒剤	小麦	一年生雑 草	5～ 6kg/10a	は種直後(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	砂壤土 ～埴土		普	I
		大麦									
カイトック乳剤	ヘンテメタリン・リ ニロン乳剤	小麦	一年生雑 草	500～ 800mL/10 a	は種直後(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	砂壤土 ～埴土		普	I
		大麦									
ガナクス	グリホサートイソフ <sup>®</sup> ロ ピルアミン塩液剤	小麦	多年生イ 科雑草	250～ 1000mL/1 0a	耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期:草丈30cm以 下)	3回 以内	雑草茎葉散布			普	I
		麦類(小 麦を除 く)	一年生雑 草	250～ 500mL/10 a	は種後出芽前 (雑草生育期)	1回					
		小麦				3回 以内					
		麦類(小 麦を除 く)			耕起7日前まで (雑草生育期)	1回					
		小麦			耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期:草丈30cm以 下)	3回 以内					
		多年生雑 草		500～ 1000mL/1 0a	耕起7日前まで (雑草生育期:草 丈30cm以下)	1回					
ガレスG	ジフルフェニカン <sup>®</sup> トリ フルリン粉粒剤	小麦(秋 播栽培)	畑地一年 生雑草	4～ 5kg/10a	は種後発芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦(秋 播栽培)									
		小麦(秋 播栽培)			小麦1～2葉期(雑 草発生前～発生 始期)						
		大麦(秋 播栽培)			大麦1～2葉期(雑 草発生前～発生 始期)						
ガレス乳剤	ジフルフェニカン <sup>®</sup> トリ フルリン乳剤	小麦	一年生雑 草	200～ 250mL/10 a	は種後出芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦(秋 播栽培)									
キックホ <sup>®</sup> カー細 粒剤F	プロスルカルブ <sup>®</sup> ・リ ニロン粉粒剤	小麦(秋 播)	一年生雑 草	3～ 4kg/10a	は種後出芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦(秋 播)									
クリアタン細粒 剤F	ベンチカーブ <sup>®</sup> ・ヘ ンテメタリン・リニ ロン粉粒剤	小麦	一年生雑 草	4～ 5kg/10a	は種直後(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦									
クリアタン乳剤	ベンチカーブ <sup>®</sup> ・ヘ ンテメタリン・リニ ロン乳剤	小麦	一年生雑 草	500～ 700mL/10 a	は種直後(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦									
ゴ <sup>®</sup> ゴ <sup>®</sup> サン細 粒剤F	ヘンテメタリン粉 粒剤	麦類	一年生雑 草	5～ 6kg/10a	は種後出芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌散布			普	I

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	適用土 壤	備考	毒 性	魚 毒 性
ゴ-ゴ-ザン乳 剤	ベンゼイメタリン乳 剤	小麦	一年生雑 草	300～ 500mL/10 a	は種後(雑草発生 前)～小麦2葉期 (イ科雑草1葉期 まで)	1回	雑草茎葉散布又は全面 土壌散布			普	I
		大麦			は種後出芽前(雑 草発生前)		全面土壌散布				
					生育期(雑草発生 前)但し収穫60日 前まで		雑草茎葉散布又は全面 土壌散布				
ザクザ液剤	グルホシネートPナリ ウム塩液剤	小麦	一年生雑 草	300～ 500mL/10 a	耕起又はは種前 (雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布			普	I
		大麦									
		小麦			収穫7日前まで (雑草生育期)	3回 以内					
		大麦									
サターバアロ乳 剤	プロメトリン・ベンチ オカーフ乳剤	麦類	一年生雑 草	500～ 750mL/10 a	は種直後～麦出 芽前	1回	全面土壌散布			普	I
タッチダウQ	グリホサートカリウム 塩液剤	小麦(秋 播)	一年生雑 草	250～ 500mL/10 a	は種後出芽前(雑 草生育期)	1回	雑草茎葉散布			普	I
		大麦									
		小麦(秋 播)			耕起又はは種前 (雑草生育期)	3回 以内					
		大麦									
		小麦(秋 播)			収穫3日前まで (雑草生育期)	1回					
		大麦			収穫7日前まで (雑草生育期)	3回 以内					
小麦(秋 播)	多年生イ 科雑草	500～ 1000mL/1 0a	耕起3日以前(雑 草生育期)	1回							
トリアサイト乳 剤	トリフルリン乳剤	小麦	一年生雑 草(ツクサ 科、カヤツリガ サ科、キ科、 アザミ科を除く)	200～ 300mL/10 a	は種後出芽前～3 葉期(雑草発生前 ～雑草発生始期)	2回 以内	雑草茎葉散布又は全面 土壌散布			普	I
麦類(小 麦を除く)			生育期(雑草発生 前)但し、収穫45 日前まで		全面土壌散布						
小麦	麦類(小 麦を除く)										
トリアサイト粒 剤2.5	トリフルリン粒剤	麦類	一年生雑 草(ツクサ 科、カヤツリガ サ科、キ科、 アザミ科を除く)	4～ 5kg/10a	は種後出芽前～3 葉期(雑草発生前 ～雑草発生始期) 生育期雑草発生 前但し、収穫45 日前まで	2回 以内	雑草茎葉散布又は全面 土壌散布	砂壤土 ～埴土		普	I
						全面土壌散布					
ハーモニ75DF	チフェンスルフロメチル 水和剤	小麦	カスノコグサ	10g/10a	麦1葉期～節間伸 長前	1回	雑草茎葉散布又は全面 散布			普	I
		大麦									
		小麦	一年生広 葉雑草	3～ 10g/10a	節間伸長開始期 ～穂ばらみ期但 し、収穫45日前ま						
			ギンギン類	3～ 5g/10a	秋播栽培の幼穂 形成期但し、収 穫45日前まで						
			スズメノテッポ ウ	5～ 10g/10a	は種後～麦2葉期						
		大麦									
		小麦	一年生広 葉雑草								
		大麦	スズメノテッポ ウ		麦3葉期～節間伸 長前						
小麦	一年生広 葉雑草										
大麦											

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	適用土 壤	備考	毒 性	魚 毒 性
ハーモニー細粒剤 F	チフェンスルフロメチル 粉粒剤	小麦	スズメノテッポウ	4～ 5kg/10a	は種後～麦3葉期 (雑草発生前～発 生始期)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除 く)		普	I
		大麦									
		小麦	一年生広 葉雑草								
		大麦									
ハサラン液剤 (ナトリウム塩)	ペンタゾン液剤	小麦	一年生雑 草(イネ科を 除く)	100～ 200mL/10 a	生育期 但し 収 穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面 散布			普	I
		麦類(小 麦を除 く)			生育期 但し 収 穫90日前まで						
バスタ液剤	ケルホネート液剤	小麦	一年生雑 草	300～ 500mL/10 a	は種後出芽前(雑 草生育期)	1回	雑草茎葉散布			普	I
		大麦			耕起前・は種前・ は種後出芽前(雑 草生育期)						
		小麦			300～ 750mL/10 a	収穫7日前まで (雑草生育期)	3回 以内				
		大麦				耕起前・は種前 (雑草生育期)	1回				
		小麦									
ハンパン細粒 剤F	エスロロカルブ・ジ フルフェニカン粉粒 剤	小麦(秋 播)	一年生雑 草	3～ 5kg/10a	は種後出芽前～ 出芽揃期(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除 く)		普	I
		大麦(秋 播)									
ホクサー	プロスルホカルブ <sup>®</sup> 乳 剤	小麦	一年生雑 草	400～ 500mL/10 a	秋播栽培のは種 後～麦2葉期(雑 草発生前～発生 始期)	2回 以内	雑草茎葉散布又は全面 土壌散布			普	I
		大麦									
		小麦			秋播栽培の麦2～ 4葉期(雑草発生 前～発生始期)						
ムキレンジャー乳 剤	プロスルホカルブ <sup>®</sup> ・リ ニロン乳剤	小麦	一年生雑 草	300～ 600mL/10 a	秋播栽培のは種 後出芽前(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布			普	I
		大麦									
ラウンドアップ マ ックスロート <sup>®</sup>	ケリホサトカリウム 塩液剤	麦類	一年生雑 草 一年生雑 草及び多 年生イネ科 一年生雑 草 一年生雑 草及び多 年生イネ科 一年生雑 草	200～ 500mL/10 a	は種後出芽前(雑 草生育期)	3回 以内	雑草茎葉散布			普	I
					耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期)						
					収穫前日まで(雑 草生育期)						
リベレーターG	ジフルフェニカン・フル フェナセット粒剤	小麦(秋 播栽培)	一年生雑 草	4～ 5kg/10a	は種後～麦2葉期 (雑草発生前～イ ネ科雑草1葉期ま で)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除 く)		普	I
		大麦(秋 播栽培)									
リベレーターフロア ブル	ジフルフェニカン・フル フェナセット水和剤	小麦	一年生雑 草	60～ 80mL/10a	は種後～麦3葉期 (雑草発生前～イ ネ科雑草1葉期ま で)	1回	雑草茎葉散布又は全面 土壌散布	全土壌 (砂土 を除 く)		普	I
		大麦(秋 播栽培)									

◆注意事項

- ・一覧表の農業登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農業の使用にあたっては、必ず手持ちの農業容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	適用土 壤	備考	毒 性	魚 毒 性
草枯らし	グリホサートイソプロピル7ミン塩液剤	小麦	多年生体 科雑草	250～ 1000mL/1 0a	耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期)	3回 以内	雑草茎葉散布			普	I
		麦類(小 麦を除 く)	一年生雑 草	250～ 500mL/10 a	は種後出芽前(雑 草生育期)	1回					
		小麦	3回 以内								
		麦類(小 麦を除 く)	耕起7日前まで (雑草生育期)			1回					
		小麦	耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期)			3回 以内					
				250mL/10 a	収穫7日前まで (雑草生育期)						
		多年生雑 草	500～ 1000mL/1 0a	耕起7日前まで (雑草生育期)	1回						



②大豆

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性	魚毒性
アタックショット乳剤	フルアセットメチル乳剤	だいず	一年生広葉雑草	30～50mL/10a	本葉2葉期～開花前(雑草生育期)但し、収穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I
エコトップP細粒剤F	ジメナミドP・リニuron粉粒剤	だいず	一年生雑草	4～6kg/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普	I
エコトップP乳剤	ジメナミドP・リニuron乳剤	だいず	一年生雑草	400～600mL/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普	I
カルナクス	グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	だいず	一年生雑草	250～500mL/10a	は種7日前まで(雑草生育期) は種後出芽前まで(雑草生育期:草丈30cm以下) 畦間処理:雑草生育期(草丈30cm以下)但し、収穫前日まで	2回以内	雑草茎葉散布		普	I
クリアタン細粒剤F	ベンチカーブ・ペンテイメタリン・リニuron粉粒剤	だいず	一年生雑草	4～5kg/10a	は種直後(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普	I
クリアタン乳剤	ベンチカーブ・ペンテイメタリン・リニuron乳剤	だいず	一年生雑草	500～700mL/10a 500～800mL/10a	定植3日前まで(雑草発生前) は種直後(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普	I
ガクサ液剤	グリホサートナトリウム塩液剤	豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)	一年生雑草	300～500mL/10a	収穫28日前まで(雑草生育期)は種・定植前又は畦間処理	3回以内	雑草茎葉散布		普	I
サターンPアロ粒剤	フロモリン・ベンチカーブ粒剤	だいず	一年生雑草	4～6kg/10a	は種後～出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普	I
サンダーホルト007	グリホサートイソプロピルアミン塩・ピラフルフェンエチル水和剤	だいず	一年生雑草	400～600mL/10a	は種後出芽前(雑草生育期) 畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで 耕起前又はは種10日前まで(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布		普	I
セレクト乳剤	クレトジム乳剤	だいず	一年生イネ科雑草(スズメカサビラを除く) スズメカサビラ 一年生イネ科雑草(スズメカサビラを除く)	35～50mL/10a 50～75mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草3～5葉期)収穫50日前まで 雑草生育期(イネ科雑草5～8葉期)収穫50日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性	魚毒性
タッチアウニQ	グリサートカリウム塩液剤	だいず	一年生雑草	250～500mL/10a	は種後出芽前（雑草生育期）	2回以内	雑草茎葉散布		普	I
			ヨキヤカウ		畦間処理：雑草生育期 但し、収穫前日まで					
			一年生雑草		耕起又はは種7日以前（雑草生育期）					
			一年生広葉雑草	2倍	生育期（雑草生育期） 但し、収穫7日前まで		雑草茎葉塗布			
トリアノサイト乳剤	トリフルリン乳剤	だいず	一年生雑草（ツユクサ科、ヤツリグサ科、キ科、アブナ科を除く）	200～300mL/10a	は種後出芽前	1回	全面土壌散布		普	I
					は種前		全面土壌混和			
					生育期 但し、収穫45日前まで		畦間土壌散布			
					定植前（植穴掘前）		全面土壌散布			
トリアノサイト粒剤2.5	トリフルリン粒剤	だいず	一年生雑草（ツユクサ科、ヤツリグサ科、キ科、アブナ科を除く）	4～6kg/10a	は種後出芽前	1回	全面土壌散布	砂壤土～埴土	普	I
					生育期 但し、収穫45日前まで		畦間土壌散布			
					定植前（植穴掘前）		全面土壌散布			
ナブ乳剤	セトキシム乳剤	だいず	一年生イネ科雑草（スズメカサネを除く）	150～200mL/10a	雑草生育期イネ科雑草3～5葉期 但し収穫30日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I
				200mL/10a	雑草生育期イネ科雑草6～8葉期 但し収穫30日前まで					
				250～300mL/10a	雑草生育期イネ科雑草9～10葉期 但し収穫30日前まで					
ハスタ液剤	ケルソネット液剤	だいず	一年生雑草	300～500mL/10a	耕起前・は種前・は種後出芽前・定植5日前まで（雑草生育期）	3回以内	雑草茎葉散布		普	I
					収穫28日前まで（株間処理：本葉5葉期以降雑草生育期）					
					収穫28日前まで（畦間処理：雑草生育期）					

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性	魚毒性
パワーガイ液剤	イマザモックスンモウム塩液剤	だいず	一年生雑草	200～300mL/10a	出芽直前～3葉期まで(雑草発生始期～2葉期)	1回	雑草茎葉散布又は全面土壌散布		普	I
					生育期(雑草発生揃期～2葉期)但し、収穫30日前まで		畦間雑草茎葉散布			
フィールドスターP乳剤	ジメナミドP乳剤	だいず	一年生雑草(アガ科・アブラ科・タデ科を除く)	75～120mL/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普	I
フィールドスター乳剤	ジメナミド乳剤	だいず	畑地一年生雑草(アガ科・アブラ科・タデ科を除く)	100～150mL/10a	は種後発芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	砂土を除く全土壌	普	I
ホルトフロアブル	キサホップエテル水和剤	だいず	一年生休科雑草(スミカサビラを除く)	200～300mL/10a	雑草生育期(休科雑草の3～10葉期)収穫30日前まで	2回以内	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I
ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩液剤	だいず	一年生雑草	200～500mL/10a	耕起前又は出芽前まで(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布		普	I
					収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)					
ラクサー乳剤	アラコロール・リニロン乳剤	だいず	一年生雑草	400～800mL/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普	I
ラクサー粒剤	アラコロール・リニロン粒剤	だいず	一年生雑草	4～8kg/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普	I
ラッソー乳剤	アラコロール乳剤	だいず	一年生雑草	300～600mL/10a	は種後出芽前	1回	全面土壌散布	全土壌	普	I
ロックス	リニロン水和剤	だいず	一年生雑草	100～200g/10a	は種直後～出芽前(雑草発生前～発生始期)	1回	全面土壌散布		普	I
					本葉3葉期以降但し、収穫30日前まで(雑草生育期)		雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理)			
ワンクロスWG	フルアジホップP・リニロン水和剤	だいず	一年生雑草	200～300g/10a	本葉3葉期以降(雑草生育期)但し、収穫45日前まで	1回	雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理)		普	I
				250～300g/10a	は種後出芽前(雑草発生前)		全面土壌散布			

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病虫害雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性	魚毒性
ワンサイト <sup>®</sup> P乳剤	フルアジ <sup>®</sup> ホップ P乳剤	だいず	シバ <sup>®</sup> ムギ <sup>®</sup>	100mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草5~8葉期)但し、収穫60日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I
			レット <sup>®</sup> トップ <sup>®</sup>							
			一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)							
			シバ <sup>®</sup> ムギ <sup>®</sup>		雑草生育期(イネ科雑草8~10葉期)但し、収穫60日前まで					
			レット <sup>®</sup> トップ <sup>®</sup>							
			一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)							
シバ <sup>®</sup> ムギ <sup>®</sup>	75~100mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期)但し、収穫60日前まで								
レット <sup>®</sup> トップ <sup>®</sup>										
一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)										
草枯らし	グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	だいず	一年生雑草	250~500mL/10a	は種7日前まで(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布		普	I
					は種後出芽前まで(雑草生育期)					
					畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで					
大豆バサガラ <sup>®</sup> ン液剤(ナトリウム塩)	ペンタゾ <sup>®</sup> ン液剤	だいず	一年生雑草(イネ科を除く)	100~150mL/10a	だいずの2葉期~開花前(雑草の生育初期~6葉期)但し収穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I
				300~500mL/10a	だいずの生育期(雑草の生育初期~6葉期)但し収穫45日前まで					